

内藤記念館再整備事業の概要

新たに建設する内藤記念館は『延岡の歴史を学び継承し、未来を創造する拠点』をコンセプトに、美術館機能を備えた歴史民俗博物館として、国の公開承認施設を目指し事業を進めております。

現在の敷地への入口を活かしながら、多くの方が来館しやすいように、屋外エレベーターを設置し、敷地西側に駐車場を整備します。

1. 場 所

延岡市天神小路 255 番地 1 (現地建替え)

2. 建設規模

敷地面積 : 12,171.07 m²

構造/規模 : 本 館 / 鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造

2 階建て (延べ床面積 3,380.20 m²)

和室棟 / 木造 平屋建て (延べ床面積 191.84 m²)

3. 施設整備の基本方針

- (1) 歴史的景観に配慮した建築意匠
- (2) 歴史に配慮した修景整備
- (3) 「重要文化財の公開承認施設」を目標とした整備
- (4) 人に優しい施設
- (5) 既存施設との連携
- (6) 環境配慮・ランニングコストの軽減

4. 諸室等の概要

①本館

【1階】 ○エントランスホール

市産材をふんだんに活用したエントランスホールは、東西両方向からアクセスでき、団体見学者が集まれる広さを確保します。エントランスでは、延岡の地理的特徴や歴史・文化の多様性を概観し、『延岡市の史跡・文化財』や『郷土芸能』、『日向神話ゆかりの地』等を映像などを使って紹介します。

○企画展示室

国内外の美術作品や重要文化財などの貴重な資料が展示できる「企画展示室」を設けます。企画展示室は、全国的に展開される特別展・巡回展などに対応できるよう、資料が適切な環境下で展示できる壁面ケースや可動ケース等を設置します。また、可動間仕切壁を設置することにより、大型の絵画などを展示する美術展の開催が可能となります。

○収蔵庫

環境の安定する1階に収蔵庫を設け、貴重な文化財等を適切に管理・保管します。

【2階】 ○展望ロビー

市産材を活用した2階ホールには、城山（延岡城跡）を望める「展望ロビー」を設けます。

○体験展示室

展望ロビーに隣接し、竪穴住居・古民家の再現等、昔の人々の暮らしを等身大で体感できる「体験展示室」を設けます。

○平常展示室

先史時代から現代に至るまでの延岡の歴史や文化について、時代や分野などテーマ別にわかりやすく紹介する「平常展示室」を設けます。平常展示では、収蔵する実物資料を積極的に活用します。

②和室棟

- 多様な市民の文化活動・交流拠点となる和室棟を整備します。
- 日本庭園と一体となる整備を行い、憩いと交流の場を提供します。
- 敷地東側の立木を整理し城山（延岡城跡）への展望を確保します。

③外構等

- 多くの方が来場しやすいように、屋外エレベーターを設置します。また、スロープ等を設置し、敷地内のバリアフリーに配慮します。
- 亀井神社へ続く遊歩道沿いに城壁風の壁や城郭風の休憩所等を設置し、移設した蔵とともに城下町の雰囲気を出します。
- 既存の植栽を活かし、格式ある「日本庭園」を再整備し、本館や和室棟から風景を楽しめるようにします。

5. 施設整備費試算（概算）

本館工事費	1,900,000 千円
和室棟工事費	80,000 千円
外構工事費	120,000 千円
屋外エレベーター工事費	70,000 千円
工事監理費	60,000 千円
展示製作費	550,000 千円
	<hr/>
	2,780,000 千円

6. 施設管理運営経費試算（概算）

（1）年間経費

① 固定経費

人件費	68,000 千円
（仮に組織体制を、館長、学芸職 5 名、事務職 3 名と仮定した場合の試算）	
委託料等	30,000 千円（設備点検・ガス燻蒸・警備・清掃・受付・樹木剪定等）
光熱水費	21,000 千円（電気・ガス・水道）
平常展示	100 千円
事務費	1,500 千円
	<hr/>
	120,600 千円

※運営形態や組織体制は検討中ですので人件費は変動します。

（同程度の規模の組織例）

八代市立博物館（延床面積 3,418 m ² ）	館長、学芸職 7 名、事務職 2 名
一関市博物館（" 3,255 m ² ）	館長、次長、学芸職 5 名、事務職 2 名

② 流動的経費

特別展経費	19,000 千円
収集・保存経費	5,000 千円
教育・調査研究経費	2,400 千円
	<hr/>
	26,400 千円

※特別展経費は重要文化財の公開承認施設である他館の実績等を参考として、重要文化財展、美術展、その他企画展 各 1 回開催として試算しました。展示内容により変動します。

（参考）東京や京都の国宝を九州で展示した例 8,500 千円程度

年間経費計 ① + ② = 147,000 千円

（2）将来、老朽化等により必要とされる改修費（ライフサイクルコスト）

屋根改修（塗装改修）	15,000 千円（15 年後を目途に改修）
屋根改修（葺き替え）	35,000 千円（30 年後 " ）
外壁改修	15,000 千円（20 年後 " ）
空調設備改修	52,000 千円（20 年後 " ）

※本資料の金額等は全て現時点での試算であり、今後、詳細に検討するものです。